

▼リンヴォック錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】 ウパダシチニブ水和物 Upadacitinib Hydrate 【分類】 ヤヌスキナーゼ (JAK) 阻害剤

【単位】 ▼7.5mg・▼15mg/錠

【常用量】

■関節リウマチ：15mg/日 [状態に応じて7.5mg/日]

■関節症性乾癬、脊椎炎：15mg/日

■アトピー性皮膚炎：15mg/日 [状態に応じて30mg/日 (12週までで半断)], 12歳以上かつ体重30kg以上の小児15mg/日

■潰瘍性大腸炎：導入療法として45mg/日, 8週間 (追加8週間可), 維持療法15mg/日 (最大30mg)

【用法】 1日1回

■粉碎不可

【透析患者への投与方法】 アトピー性皮膚炎で高度の腎機能障害患者：15mg/日 (1) 潰瘍性大腸炎の導入期のみ30mg/日で、維持期はそれ以下 (1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 腎機能低下により AUC が増大 [CKD G4 で 1.44 倍] (1) アトピー性皮膚炎で高度の腎機能障害患者：15mg/日 (1)

【特徴】 JAK 阻害薬、徐放性フィルムコーティング錠。MTX 等少なくとも 1 剤の抗リウマチ薬等による適切な治療を行っても、疾患に起因する明らかな症状が残る場合に投与。JAK2 (赤血球成熟) や JAK3 (免疫監視、リンパ球機能) と比較して JAK1 (炎症性サイトカインシグナル伝達に関与) の阻害作用が強く、炎症性サイトカインおよび IFN のシグナル伝達を阻害。B 型肝炎の再活性化、帯状疱疹、結核などに注意。

【主な副作用・毒性】 日和見感染症等の重篤な感染症、消化管穿孔、血球減少、肝機能障害、間質性肺炎、静脈血栓塞栓症、上気道感染、発熱、CK 上昇、体重増加など

【安全性に関する情報】

【吸収】 高脂肪食により AUC1.3 倍 (1)

【F】

【tmax】 2~3hr (1)

【代謝】 CYP3A で代謝 [一部 CYP2D6] (1) グルクロン酸抱合を受ける (1) 活性本体は未変化体であり代謝物に活性はない (1)

【排泄】 尿中回収率 43%、尿中未変化体排泄率 24% [po, 216hr まで] (1) P-gp, BCRP の基質 (1)

【CL/F】 35.2±5.38L/hr (1)

【t1/2】 8~14hr (1)

【蛋白結合率】 52% (1)

【Vd】 294L/74kgBW (1)

【MW】 389.38 [水和物]

【透析性】 資料なし (1)

【O/W 係数】 2.5 [1-オクタノール/pH7.4 buffer] (1)

【相互作用】 強い CYP3A4 阻害剤併用時は減量指示あり (1)

【肝障害患者への投与方法】

【小児 CKD 患者における報告】

【妊婦・授乳婦への投薬】 妊婦・妊娠の可能性：禁忌、授乳を避ける (1)

【主な臨床報告】

【更新日】 20240207

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。